

企画総務委員会会議録

令和元年9月13日（金）
氷見市庁舎議事堂委員会室
開 会 午前10時00分
閉 会 午前11時08分

- 1 案 件 令和元年9月定例会において企画総務委員会に付託されたもの
- 2 出席委員 6名
小清水委員長、稲積副委員長、越田委員、荻野委員、澤田委員、嶋田委員
- 3 委員外議員 積良副議長、穴倉議員、北議員、屋敷議員、萬谷議員、正保議員、竹岸議員、松原議員、上坊寺議員、谷口議員
- 4 職務のため出席した事務局職員 坂本事務局長、串田事務局次長
- 5 説明のため出席した者の職、氏名
林市長、小野副市長、京田企画政策部長、藤澤総務部長、森秘書広報課長、戸田地域振興課長、泉澤総務課長（選挙管理委員会事務局長）、森川税務課長、東軒財務課長ほか関係職員
- 6 傍 聴 人 4人
- 7 付 託 議 案 別紙付託案件表のとおり
- 8 経過及び結果
 - ・小清水委員長が開会を宣告し、市長挨拶の後、議事を進行した。
 - ・当局の説明を受け質疑応答を行った結果、議案第50号氷見市一般会計予算（第3号）については賛成多数により、その他の案件については全会一致をもって原案を可とすることに決した（主な質疑応答は別紙のとおり）。
 - ・委員会報告の作成は委員長に一任された。

氷見市議会委員会条例第27条第1項の規定によりここに署名する。

令和元年9月13日

氷見市議会企画総務委員長

小清水勝則

令和元年9月企画総務委員会付託案件表

令和元年9月13日（金）午前10時
氷見市庁舎議事堂委員会室

◎ 秘書広報課

- ・ 議案第50号 令和元年度氷見市一般会計補正予算（第3号）中
秘書広報課所管に係る事項…………… 説明書P. 10
- ・ 議案第57号 氷見市有線テレビジョン放送条例等の一部改正について 議案書P. 38

◎ 地域振興課

- ・ 議案第50号 令和元年度氷見市一般会計補正予算（第3号）中
地域振興課所管に係る事項…………… 説明書P. 10

◎ 新文化施設建設室

- ・ 議案第50号 令和元年度氷見市一般会計補正予算（第3号）中
新文化施設建設室所管に係る事項…………… 説明書P. 26

◎ 総務課

- ・ 議案第50号 令和元年度氷見市一般会計補正予算（第3号）中
総務課所管に係る事項…………… 説明書P. 10
- ・ 議案第58号 氷見市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正
について…………… 議案書P. 41

◎ 税務課

- ・ 議案第50号 令和元年度氷見市一般会計補正予算（第3号）中
税務課所管に係る事項…………… 説明書P. 12

◎ 財務課

- ・ 議案第50号 令和元年度氷見市一般会計補正予算（第3号）中
財務課所管に係る事項…………… 議案書P. 1

（注）一般会計における繰出金（財務課を除く）、給与費（総務課を除く）、財源補正及び節区分補正に係る説明は不要です。

主な質疑応答

秘書広報課 稲積委員	ケーブルテレビネットワーク光化推進事業費について この事業に伴う工事は、すべて能越ケーブルネットが発注するのか。
森課長	そのとおり。
稲積委員	本来であれば、民間の資金で工事を行うべきと思うが、公金を使って民間の利益の底上げになることを行っているのではないかという懸念が生まれてしまうがいかがか。
森課長	氷見市では情報格差解消のためにこれまで重点的に取り組んできたのが、ケーブルテレビと携帯電話通信エリアの拡大だが、携帯電話が普及してきた90年代後半、市内の中山間地ではまだ携帯電話がつながる地域が少ない状況の中で、市が携帯基地局を整備し事業者が無償で貸与するなどし、エリアの拡大に努めてきた経緯がある。
澤田委員	中国との友好交流協定締結事業費について ① 協定締結の時期はいつ頃か ② 氷見市国際交流協会との関係はいかがか。また当協会とこの件で協議をしているのかどうか ③ 協定に際し県の支援は受けることができるのか
森課長	① 協定内容が整った段階で締結となる。年度内に調整できればと思っている。 ② 国際交流協会との協議の状況 協定締結に向けた協議を進めるという文書の決裁については所管の総務課に合議したうえで現在作業を進めているが、国際交流協会とはこの件で直接協議はしていない。 ③ 県の支援については、まだ調べていない。
澤田委員	国際交流協会と協議はされていないということであるが、話の最初から協会に参加してもらえばどうか。中国への行き来の中にも一人ぐらいは入ってもらうということは考えられないか。
森課長	ご意見はごもっともだと思う。今回もJA、JF、観光協会、商工会議所等と話をしているところであり、委員のご意見を参考に対応を検討したい。
稲積委員	ケーブルテレビネットワーク光化推進事業費について 先ほどのケーブルテレビの件だが、条例改正により受信料は上がるという

<p>森課長</p> <p>稲積委員</p> <p>森課長</p> <p>稲積委員</p> <p>森課長</p>	<p>うことでよいか。</p> <p>そのとおり。</p> <p>国からの補助を使って工事をするが、受信料を上げるとなると、その分は能越ケーブルネットに入るといことか。</p> <p>そうである。</p> <p>そうであれば、公金使って民間の利益の底上げをしているのではないかという懸念があるがどうか。</p> <p>先ほども言ったが、携帯電話の基地局を無償で民間へ貸与することで、サービスの均一化を継続的に確保していた経緯がある。同じ料金をいただいている以上は、同じサービスを提供していくという考えに基づき、今回も同一サービスを同一の料金で提供するという趣旨で、今後も引き続きサービスを提供していく。</p>
<p>新文化施設建設室 澤田委員</p> <p>京田室長</p> <p>澤田委員</p> <p>京田室長</p>	<p>新文化交流施設整備事業費について</p> <p>公民連携での募集をしたところ、1社のみで不調に終わったということだが、それは昨年度のことという説明だったが、予算的には今年度でしょ。</p> <p>経過として昨年度の公募による事業者選定の結果を説明し、当初予算としては事業者を選定できた場合の必要額を計上したが、今回結果として予定していた事業着手に至らなかったため、今回補正をお願いしているものである。</p> <p>当初予算は、あくまで公民連携での予算である。3月議会の委員長報告でも、「公民連携はこの事業の基軸である。」と述べているが、今回の方針変更については説明が不十分である。公民連携が崩れた今、一度事業計画の変更をすべきである。当初予算に沿ったものでないので賛成できない。</p> <p>当初予算では民間事業と合わせた一体的な整備を想定していたが、公共施設棟については、元々市が事業主体になって行うものであり、当初予算の中でもそのように計上しているので進めていきたい。</p> <p>今後は民間事業の導入ということも想定しながら基本計画、基本設計にはしっかり反映させていきたい。公共施設棟の工事については当初の計画通り、早期に整備を進め竣工させていきたい。</p>

<p>澤田委員</p> <p>京田室長</p> <p>澤田委員</p> <p>小清水委員長</p> <p>澤田委員</p> <p>京田室長</p> <p>澤田委員</p> <p>京田室長</p>	<p>民間部分の整備については、少なくとも市長の任期中には間に合わないと思う。いつになるかわからないものが今の当初予算に入っているということ。しかも基本設計の中で民間のことも組み込むということは事実なのか。</p> <p>改めて言うが、民間事業の部分については市の予算は使わない。公共施設に係る部分だけを予算でお願いしているが、それに合わせて民間事業の展開をしてくれる人を募っていきたいということ。</p> <p>あくまで、公民連携を基軸とした当初予算であり、公民連携が必須条件だということの中で当初予算が可決された。無理な説明に懸念が残る。私は事業計画の変更が妥当だと思うという意見を述べて質問は終わる。</p> <p>澤田委員、当委員会は質問の機会を与えられているのであって、意見だけ言うのは受け付けられない。</p> <p>新文化施設が完成するまで、この当初予算を生かした形で、民間事業を受け入れたり、実施設計に組み込んだりしていくのか。</p> <p>今基本設計をする中で、考慮すべきは、今後、旧市民病院跡地を活用して事業展開してもらえる民間事業の導入が可能となる余地は残しておく必要があるということ。</p> <p>あくまで借地契約を結んで用地を提供していくということは昨年度の募集でも想定し現在も変わっていないが、設計の中に民間施設部分が入ってくるということではないので、念のため申し添える。</p> <p>用地を空けるだけという風に聞こえる。そうしたら新文化施設の設計の中に民間部分を組み込んでいくというのは無理があるのではないか。</p> <p>本来であれば、当初想定していたとおり、一体的に検討できれば最善かと思うが、旧市民病院跡地を有効に活用するという意味で、まずは公共施設部分の建設用地と合わせて、民間事業を導入できる用地を残しておくということになるかと思っている。</p>
<p>選挙管理委員会事務局</p> <p>越田委員</p> <p>泉澤事務局長</p>	<p><案件外質問> 氷見市の投票率について</p> <p>7月の参議院選、昨年の市議選、一昨年の市長選は、いずれも各々前回より投票率が下がっているが、これについての見解は。</p> <p>投票率の低下については、氷見市だけでなく、全国的に憂慮すべき状態になっており、市の選挙管理委員会としても同感である。</p>

	<p>国でもいろいろな施策を行っているが、できるだけ広報等で周知し、また投票に行きやすい環境をつくるということ、これまでも取り組んできたが、これからもさらに取り組む必要があると考えている。</p>
越田委員	<p>7月の参議院の時、広報車が回っていないのではという声を聞いた。どういったルールで広報車が出るのか。</p>
泉澤事務局長	<p>広報車については、以前市民から「うるさいのでやめてほしい」といった意見や苦情、要望があったこともある。また、市として運転職員が確保できないといった運用上困難な点もある。今回の参議院選では3日間広報車で市内巡回し、選挙の周知を図った。</p> <p>今後も広報車が市内を巡回する回数が少ない国政選挙等では、状況を見ながら広報車の活用も検討していきたい。特にこれといった決めはなく、逐次考えていきたいと思っている。</p>
越田委員	<p>棄権者に対するの対応策はあるか。</p>
泉澤事務局長	<p>投票したか棄権したかは個人の秘密であり、投票の秘密は守られるべきものである。よって棄権者だけへの対応は難しく、有権者全体に対して啓発する取り組みとなる。</p>
越田委員	<p>山間部の方が体調が悪く投票所まで降りてこれないだとか、町部投票所を増やしてほしいという声も聞こえてくるが、これも投票率低下の一因ではないかと考えるのがいかがか。</p>
泉澤事務局長	<p>投票所を増やすということもそうだが、期日前投票所の件でそういった声も聞こえてくる。氷見市では期日前投票所を市役所1か所で行っているが、ショッピングセンターや大学等を期日前投票所としている市もある。</p> <p>氷見市内では期日前投票所に適しているところが乏しいということの一方、歩行困難な方にも投票しやすい1階を会場にすることができ駐車場もあることから、投票率は下がっているが、期日前投票が毎回増えているということもあるので、今のところ、期日前投票所は市庁舎以外は考えていない。</p> <p>投票所についても今のところ問題ないと思っている。逆に今後は有権者が減ってきた投票所をどうするか検討する必要があるのではという話も出ている。</p>
越田委員	<p>期日前投票が増えているのは良いことだと思うが、市民がよく赴くJAさんや金融機関等に新たな期日前投票所の設置を検討されてはいかがか。</p>

泉澤事務局長	<p>これまでの発言と重なるかもしれないが、投票所というのは秘密の保持ができること。公平性が保てること。また2か所以上の期日前投票所となると、二重投票を防ぐために、オンラインでの名簿対象が必要となり、その環境整備が必要となる。</p> <p>確かに2か所以上の期日前投票所があれば、有権者の便宜が図られるのかもしれないが、施設的に難しいということ。</p> <p>選挙管理委員会事務局としては、現在の市庁舎での期日前投票所だけでも十分役割を果たしているのではないかと考えている。</p>
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

個人別賛否一覧（賛否が分かれた議案のみ）

案件名		委員名	自民同志会					無党派
			稲積 佐門	越田 喜一郎	小清水 勝則	荻野 信悟	嶋田 茂	澤田 勇
議案第50号	令和元年度氷見市一般会計補正予算（第3号）		○	○	—	○	○	×

※「○」は賛成 「×」は反対 「退」は退席 「欠」は欠席

※委員長は表決に加わらないため「—」と表示してあります。